

- 02 井上俊哉新学長 就任インタビュー 16 中高新校長就任
08 就活で力を発揮する学生が持っている5つの強み

- 06 創立 140 周年
あの頃とこれまでの物語
16 附属女子中学校・高等学校
21 なでしこ展覧会&歳時記



1954 東京家政大学 短期大学部 家政科 児童栄養専攻

140th Anniversary



2021 東京家政大学 家政学部 児童学科 育児支援専攻

新学長就任インタビュー

学修者本位を
教育の常識に



いのうえ しゅんや
井上 俊哉

東京家政大学・東京家政大学短期大学部 学長
人文学部心理カウンセリング学科 教授

プロフィール

- 【学歴】
 - 1983年3月 東京大学 教育学部 教育心理学 卒業 教育学士
 - 1986年3月 東京大学大学院 教育学研究科 教育心理学専攻 修士課程修了 教育学修士
 - 1991年3月 東京大学大学院 教育学研究科 教育心理学専攻 博士課程単位取得満期退学
- 【職歴】
 - 2009年4月 東京家政大学 人文学部 心理カウンセリング学科 教授（現在に至る）
 - 2012年4月 東京家政大学大学院 人間生活学総合研究科 臨床心理学専攻 教授（現在に至る）
 - 2012年4月 東京家政大学大学院 人間生活学総合研究科 人間生活学専攻 教授（現在に至る）
 - 2012年4月 東京家政大学 人文学部長（2015年3月迄）
 - 2018年4月 東京家政大学・東京家政大学短期大学部 副学長（2021年3月迄）
 - 2021年4月 東京家政大学・東京家政大学短期大学部 学長（任期は2025年3月31日迄）

2021年4月に東京家政大学・東京家政大学短期大学部の学長に就任した井上新学長に、本学が持つ強みや特色、これまで教員として学生に接する中で大切にしてきた想い、教育改革に向けた課題や展望などについて、話を聞きました。

考えが変わることは自然なこと
自分に合った納得できる選択を

昨年から続く新型コロナウイルスは世界の在り方を一変させ、人々の暮らしも慌ただしく変化しています。オンライン化が急速に波及し、AIの進化に驚かされる局面も増え、人生100年時代も耳慣れた言葉になりました。時代や社会の変容に柔軟かつ迅速に呼応した教育・研究が求められる中、各大学の強みや特色の明確化はさらに重要な意味を持ちます。

本学が持つ強みについて井上新学長は、「専門教育であり、資格が取得できることは間違いなく本学の強みです。資格取得を目指して入学してくる学生も多いですし、社会的にも高い評価を得ています。高校生が真剣に考え抜いて専門分野を選び、本学での学びを経て資格を取得し、それを自分のバックボーンにして生きていく。職業に繋が

るような資格を持つことは素晴らしいことです」

その一方で、高校を卒業したばかりで感情のこまやかな世代が、色々なことを経験し、時間が経過するにしたがって、自分の考えが変わることも自然なことだと言います。「学生生活を過ごす中で、悩んだり、考えが変わったりすることはありうることです。例えば、わたしが所属する心理カウンセリング学科では、養護教諭の免許が取得できますが、課程を履修したら何がなんでも養護教諭の免許を取りなさいとは指導していません。種々の経験を通して、入学当初に考えていた目標が変わる、それはちつともおかしいことではないですよね。途中で養護教諭の課程をやる学生もいますが、一人ひとりの学生が、自分に合った納得できる選択ができれば、それで良いのではないかと思いますし、そのためのサポートを丁寧に行いたいですね」

悩みにはきつと意味がある
自分と素直に向き合って

自身の高校・大学時代を振り返ると、色々悩み、うまくいかなかった時期も経験してきたという井上新学長。だからこそ、悩みを抱える学生に心を寄

せています。「学生たちが何か悩んでいるとしても、それはわざとやっているのではないわけです。だから、自分を責めないでいい。その悩みにはきつと意味がある。あなたは誰に劣ることもないし、ちゃんとやっていける、と伝えたい。だから、すねたり、ひねくれたりではなく、自分と素直に向き合って、自分を大事にして欲しいですね」

オンライン授業の
受け止めにある個人差
今後の方向性をどう考えるか？

これまで30年間、大学教員として学生に接する上で大切にしてきたこと、それは、学生一人ひとりの考えや気持ちを受け止め、尊重することです。「みんなが同じ方向を見る必要はないのだ

から、学生には、本当に自分がそれで良いのか、あなた自身が満足しているのかを問いかけています。その際の熟慮と行動が大切だと考えています」



りました。昨年度は、副学長として「オンライン授業対策・サポートチーム」を率いてきました。「オンライン授業の受け止めは、学生によって個人差があります。ストレスを強く感じる学生も多くいましたし、逆にやりやすかったという学生もいました。発言や質問が積極的に

推理小説

出身は岩手県釜石市。そこには2年ほどしかおらず、その後は東京近郊で過ごしました。小学生の頃に住んでいたのは藤沢。「特に藤沢市民図書館にはお世話になりました」と図書館に通う少年で、「ドリトル先生」「ナルニア国ものがたり」が気に入っていたとか。

「中学の頃はアガサクリスティ、高校生になると松本清張を読んでいましたね」と、当時は推理小説を好んでいたそう。今はまとまった時間を取りづらいますが、何かあって気分を変えたい時は、本を読むことが多いそうですよ。



いのちゃん

小学校時代の井上少年のニックネームは苗字からシンプルに「いのちゃん」。

名前「俊哉」(しゅんや)の由来をきちんと聞いたことはないそうですが、小説家の志賀直哉から「哉」とった説、パイオリニストの江藤俊哉に由来する説があると教えてくれました。



井上新学長の人物像に迫ってみました!

その“人となり”を読者の皆様へ少しでも知っていただけるよう、あれやこれやイロイロな質問をぶつけてみました!



小浜島の星空

幼い頃、松山に住んでいた祖母や親せきを訪れた時に、島や山に連れて行ってもらったことが、今でも良い思い出として残っているそうです。

最近の旅行先を尋ねると、沖縄県の小浜島で見た星空が忘れられないそうで、「東京だとたくさんの星が眩く夜空を見ることは難しいですからね。自然の中で見上げる星空は良かったですよ」と教えてくれました。



睡眠6時間

多忙な毎日ではありますが、睡眠時間は十分に確保するようにしていて、平均6時間は取っています。

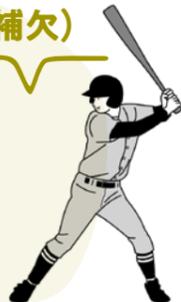
「朝起きたら、まずは布団をたたむところから、一日がスタートしますね」ということで、ベッドではなく布団で就寝していることが判明しました。



野球部 (補欠)

鉄板の質問、中学時代の部活は? その答えは王道の野球部でしたが、「弱小野球部の補欠でしたからね」と続き…、心中お察しします(泣)

「かっ飛ばせー、しゅんや!」と声援を受けていたかは不明ですが、中学時代のニックネームは、名前の呼び捨てに変わりました。



何を身につけたのか? 学修者本位の教育へ

井上新学長は、「学修・教育開発センター(CRED)」所長を部署の発足当初から務めてきました。その経験を踏

なったという声も聞きます。ただ、オンライン授業にメリットがあるからといって、全てをオンラインに移行する選択は現実的ではありません。大学・短大で過ごす時間は、直接の交流を通じて人間関係を学んでいく大切な時期です。可能な限り、対面での授業を増やしていく必要があると考えています」

他方、デジタル化への対応は着実に進めなければならぬと語ります。「デジタル化は、元々やらなければならなかった訳ですが、なかなか進みませんでした。コロナ禍をきっかけに、どの大学も否応なしにやらざるを得ない状況になりました。この経験をいかそうと、多くの大学が舵をきろうとしています。本学の場合、オンライン授業をメインに据えることはありませんが、世の中がどんどん変わっていくのをただ傍観するだけでは、取り残されます。デジタル化はさらに加速しますから、その持ち味をうまくいかせるような導入を進めていければと考えています」

「何を教えるかではなく、学生が何を身につけたのか。高等教育ですつと言われ続けていることですが、まだ大学の常識になりきっていないのが現実です。だから今でも、言われ続けています。この現実を真摯に受け止め、学修者本位の教育について、教職員と学生が根本的な理解を共有しなければなりません」

多様な学生が入学する昨今、大学・短大に求められるのは「自律的に学ぶ学修者を育て、社会に送り出すこと」と言い、そのためには、教員が教えたことを一方的に話す講義スタイルから、学修者の自ら学ぶ意欲を育てる教育環境への転換が不可欠だと強調します。「特に若い世代は、ICT(情報通信技術)利用や新しい授業スタイルの導入に、身構えることなく軽快に挑戦できると見受けられます。だからこそ、若い世代を巻き込んだ意識改革も効果的ではないかと思っています」

教育改革は、その構想を具現化して

初めて効力を発揮します。機動力と求心力を発揮する組織運営が求められていることについて、「大事なものは、組織的に動くこと。大学としてのヴィジョンを示し、大学全体の目標に向けて一人ひとりががんばりを束ねていかなければなりません。着実な実行に移すために、中長期目標・計画に基づいて、どの部門の、誰が、いつまでにやるの

かという年度計画を明確にしているかと考えています。エネルギーに満ち溢れる若い世代の参画を促し、当事者意識や納得感を持って教職員みんなで手分けをしながらか協力して取り組めば、その先に、さらに花実が咲く東京家政大学・東京家政大学短期大学部があると信じています」



オール家事

現在は「都内在住で、妻と2人の子との4人暮らしです」



編集部員が以前、都内の某商業施設・食品売り場で買い物する先生を目撃したことから(しかも数回)、家事について聞いてみたところ、「めちゃくちゃ家事はしますよ。買い物、洗濯、掃除、皿洗い、何でもね。苦手であまりしないのは料理かな」



家事の中でも、特に皿洗いは気分転換になるそうです。



豆大福

死ぬ前に食べたいものは? という質問に、「うーん、その質問にパッと答えられるタイプじゃないんだよね」と困った様子。そこで、食べ物の嗜好に話を切り替えると、「甘いものは好きですね」と笑顔になった井上先生。(※甘党ゆえ、お酒はほとんど飲みません)

和菓子も洋菓子も、どちらも大歓迎。あんこ論争に必須の粒あん派? こしあん派? の問いには、強いて言えば、粒あん派。



「豆大福なんかはおいしいよね〜。」と好物を教えてくださいました。どら焼きもお好きだそうです!

東京家政大学 あの頃とこれまでの物語 (1950年代前半編)

本号から表紙を創立140周年の特別バージョンとしてリニューアルしました。88号の表紙で使用した写真は1954年の様子です。その頃の東京家政大学ではどのような出来事が起きていたのでしょうか？それはまさに、東京家政大学がターニングポイントを迎えた時代でした。

1881年 (明治14) 1949年 (昭和24) 1950年 (昭和25) 1951年 (昭和26) 1952年 (昭和27) 1954年 (昭和29)

校祖渡邊辰五郎が「和洋裁縫伝習所」を開設

東京家政大学 家政学部および別科
 家政学部は4年制の生活科学科および被服科学科、別科は1年制で設立した。

東京家政大学短期大学部 家庭科
 2年制の児童栄養専攻および被服専攻を置いた。

「卒業生母校に帰る日」を初開催
 以後、毎年5月に開催することとした。



調理室(1950年)



講義風景(1951年)

70年後の今も

「卒業生母校に帰る日」を開催

卒業後のフォローアップ 新社会人が悩みを相談する場

「卒業生母校に帰る日」とは、その年の3月に卒業したばかりの卒業生をフォローアップする機会です。社会人になって数か月が経った頃は、精神的にも肉体的にも辛さを感じる時期。職場の雰囲気にも馴染めない、仕事が多くてしんどい、この生活を続けていけるのか不安、といった悩みを母校で相談できる日です。女性の生き方を応援する本学は、卒業後のキャリア形成もバックアップしています。



▲2019年度の様子
 ※2021年度はオンラインで実施予定。

1950年代はこんな時代

1951年には第1回NHK紅白歌合戦が放送、1953年には日本初のスーパーマーケットとなる紀ノ国屋が東京・青山にオープンするなど、今のわたしたちの生活のもとになるような出来事が起こった時代です。1954年にはオードリー・ヘップバーン主演の映画「ローマの休日」が公開され、髪型(ヘップバーンカット)、映画中で食べていたソフトクリームまで、様々なものが流行しました。
 <参考>年代流行 (<https://nendai-ryuukou.com/>)



被服科の授業風景(1951年)

1952年 (昭和27)

栄養士養成施設として指定

家政学部生活科学科および短期大学部家庭科は厚生省(当時)より栄養士養成施設の指定を受けた。

69年後の今も

栄養士・管理栄養士の養成施設

管理栄養士の国家試験 全国平均を大きく上回る合格率

現在の栄養学科管理栄養士専攻では、医療・福祉分野で期待される管理栄養士の取得を視野に、医学的な分野まで深く学び、医療現場からスポーツ関係まで幅広い分野で、人々の健康維持に貢献できるスペシャリストを養成しています。

充実した国家試験対策で、全国平均を大きく上回る高い合格率を誇ります。個別相談や個人指導、集中講座や直前対策講座など、一人ひとりの学生に合わせた丁寧なバックアップを行っています。

管理栄養士
 国家試験合格率
 (2021年)
96.6%
 (全国平均64.2%)



栄養実験の様子(1953年)

表紙写真



育児実習風景(1954年)

67年後の今も

教員免許が取得できる大学・短大

「裁縫の渡邊」から 「教師養成の家政」は現在も

設置以来、「家庭科」を起点として理科、美術科、英語科、社会科・公民科の中学校・高等学校の各科目教諭、また戦前から伝統を引き継ぐ幼稚園教諭、小学校教諭、さらに栄養教諭、養護教諭、特別支援学校教諭と教師教育の範囲と内容を広げてきました。専門性の高い数多くの教師を輩出し、社会的評価と信頼を得ています。

家政学部は中学校・高等学校教諭(家庭・保健)、短期大学部は中学校教諭(家庭・保健)の養成課程の認定を受けた。

学科・専攻・科	取得可能な免許状
児童学専攻	幼稚園教諭一種免許状
育児支援専攻	幼稚園教諭一種免許状
児童教育学科	幼稚園教諭一種免許状
	小学校教諭一種免許状
栄養学専攻	中学校教諭一種免許状(家庭)
	高等学校教諭一種免許状(家庭)
管理栄養士専攻	中学校教諭一種免許状(理科)
	高等学校教諭一種免許状(理科)
服飾美術学科	中学校教諭一種免許状(家庭)
	高等学校教諭一種免許状(家庭)
環境教育学科	中学校教諭一種免許状(理科)
	高等学校教諭一種免許状(理科)
造形表現学科	中学校教諭一種免許状(美術)
	高等学校教諭一種免許状(美術)
英語コミュニケーション学科	中学校教諭一種免許状(英語)
	高等学校教諭一種免許状(英語)
心理カウンセリング学科	養護教諭一種免許状
教育福祉学科	中学校教諭一種免許状(社会)
	高等学校教諭一種免許状(公民)
子ども支援学科	幼稚園教諭一種免許状
	特別支援学校教諭一種免許状(知・肢・病)
保育科	幼稚園教諭二種免許状
栄養科	中学校教諭二種免許状(家庭)
	栄養教諭二種免許状



強み1 「わたしは」を主語に返答できる

今どきの学生たちの情報収集力は、目を見張るものがあります。今では、インターネットやSNSを駆使すれば、疑問の答えをすぐに見つけることは容易です。これは学生に限らずですが、「答え探し」に依存しがちな時勢とも言えます。そんな今だからこそ申し上げたいのは、就活でも働く上でも、「自分の意見を持つ」ことがとても大切だということです。

進路選択や面接などあらゆる場面で、あなたは「どう思うの？あなたは「どうしたいの？」あなたは「が主語になる質問が待ち受けています。だからこそ、

強み2 インターンシップに参加している

就活を安定して進めている学生の大半は、早いうちからインターンシップに参加しています。インターンシップの良いところは、自分自身を内観できること、また企業によっては特別枠で早期選考の案内をもらえることです。前者については、企業で実際に働く体



わたしはこうしたい、わたしはこれを大事に生きたい、というように自分の考えや価値観を持つことが大事になります。これらを明確にできている学生は、「わたしは」を主語に堂々と返答することができ、自分の判断基準に照らした進路選択や就活を進めることができます。

その反面、キャリア面談をしていると、「自分がどうしたいのかわからない」という学生にも多く出会います。進路選択や就活は、自分自身のためにするもの。自分の好き嫌い、得意不得意は何だろうと考えてみて、それに「なぜ？」を繰り返し問うことで、自分の気持ちや考えを口頭から深める習慣をつけてみましょう。

インターンシップで働くことの価値観を深める

後者については、企業が採用活動の早期に、インターンシップ参加者を対象に特別枠で選考案内を送ることもあります。このチャンスを利用して、大学3年生または短大1年生の2〜3月に内定を獲得する学生もいます。このような学生は、早々に就活を終えることができる可能性もありますし、より志望度の高い企業に集中して就活を進めることができます。既に内定があることで、気持ちにゆとりを持って就活

キャリア支援課は、専門分野と就職

強み3 キャリア支援課のプログラムをうまく活用している

就活中の学生とキャリア面談をしていると、よくこんな優良企業を探してきたな、という学生に出会うことがあります。そこでこの企業を見つけたの？と聞くと、「学内企業セミナーで知りました」という答えが多く聞かれます。学生が見つけれられていないだけで、学生の間では知名度が高くないけれども優良企業というのは数知れずあります。大学・短大のキャリア支援課が実施するプログラムをうまく活用している学生は、自分では入手しづらい情報をキャッチし、チャンスを広げています。



進路アドバイザー 中村 梨恵さん 繊維メーカーの海外営業職、広告代理店の営業職を経て、学校法人職員としてキャリア・就職支援業務に従事。現在はフリーランスのキャリアコンサルタントとして学生や社会人向けの就職・転職支援や企業の採用支援を行っている。

本学のみならず他大学も含め、大学生・短大生の進路アドバイザーとして活躍している中村梨恵さん。日々のキャリア面談では、進路を検討し始めた段階の心配ごとから、就活真っ最中の悩みまで、広範な相談に乗っています。本号では、大勢の学生と接してきた中村さんに「就活で力を発揮する学生が持つ強み」を伺いました。また、コロナ禍が就職活動に与えている影響についても、教えていただきました。是非、ご一読ください。

2020年実就職率ランキング
(卒業生数1000人以上の女子大学)

順位	大学名	所在地	実就職率
1	昭和女子大学	東京	97.0
2	東京家政大学	東京	95.4
3	安田女子大学	広島	95.0
4	東京女子大学	東京	94.6
5	日本女子大学	東京	94.0
6	武庫川女子大学	兵庫	93.9
7	椋山女学園大学	愛知	93.6
8	実践女子大学	東京	93.0
9	共立女子大学	東京	91.9
10	京都女子大学	京都	91.8

(2020年8月3日 大学通信 発表)

実就職率ランキング
全国の女子大で2位* (2020年)

2020年(2019年度卒)の実就職率ランキングでは、東京家政大学が全国の女子大学で2位*となり、その就職率の高さが顕著にあらわれました。精神的にも経済的にも自立する女性を育成する「自主自律」の伝統と、女子学生の就職が厳しかった頃から継承されている学生に寄り添う手厚く丁寧なキャリア支援が、この結果に結びついています。大学・短大卒業後に、結婚や出産などのライフステージの変化を経ても、働くことをギブアップしなくても良い環境が整い始め、「働く女性」はスタンダードになっています。またコロナ禍によって、テレワークの普及や生活様式が変わり、わたしたちの生き方そのものが問われています。自分は何を望み、何を大切にして、どう生きたいか、そして今後の社会や世界で何が求められていくのかを考えることが重要な意味を持つでしょう。

*卒業生1000人以上を対象とした女子大学での順位

保護者と就活

評価・判断しないで、聞いて受け止める

ご息女の就活について、「保護者はどう接したらいいのかわからない時代も難しい問題です。学生と面談をしていて感じるのは、保護者の何気ない一言を学生は繊細に受け止めて、保護者が想像する以上に影響力を持っているということです。例えば、親が安定した職業が良いと言うから、親がその職種は向かないと言うから、といったセリフをよく聞きます。大切なのは学生本人が自分を見つめ、考えること。特に本人がやる気をなくしている時や落ち込んでいる時は、保護者は評価・判断するのではなく、「あなたは どうしたい?」「あなたは どう思う?」と問いかけ、「なるほど、そう思っているんだね」と受け止めることが肝心な時もあります。もちろん、アドバイスが必要な局面もあるかと思えます。その際も「あくまでもわたしの意見だけど」と言葉を添えて、ご息女の気持ちを尊重するスタンスで接していただくことで、「最終的には自分が決めるんだ」という自立心の醸成にも繋がると感じます。



コロナ禍と就活

人気の業界、旅行・ホテル・航空は?

旅行・ホテル業界は、細々とではありますが採用を実施している企業もあり、その枠を狙って就職活動をしている学生もいます。ただ、厳しい状況の業界なので、他のどの業界に活動を広げれば良いか?という質問を多く受けます。一つの選択肢ですが、目指す業界に新卒で就職しなくても、転職して最終的に旅行・ホテル業界を狙うキャリアプランもあり得ます。ホテルで英語を使って仕事をしたい→英語力を磨ける仕事、旅行の企画提案をしたい→提案型の営業職など、長い目で考える選択肢もアドバイスしています。

そして、大打撃の航空業界。目指してきた学生の行き場のない思い、そのショックは計り知れませんが、絶望的になる必要は決してありません。状況が落ち着けば航空業界も徐々に復活する可能性もあるでしょうし、余裕を持って考えてみましょう。前述同様に、転職によって社会人経験を積んでから叶える手段も検討できます。また、将来的に転職を考えていたけれども、新卒で入社した会社が意外にも自分に合い、そのままずっと働き続けるケースもあります。ときには、「運命に乗っていく」くらいの気持ちになってみるのも良いですし、起こった出来事をプラスに転換して考えてみると、何かしら良い影響が生まれるかもしれません。

進路アドバイザーとの面談 実施中

家政学部・人文学部・短大 (板橋キャンパス)

進路アドバイザーによる面談をオンラインにて実施中。進路や就職活動全般(応募書類や面接対策から業界研究、活動方法等)に関して一人30分じっくり相談できます。(卒業学年優先)

【在学生の皆さんへ】「manaba」のコース名「2021 キャリア支援課」から閲覧や申込みが可能です。

〈問い合わせ先〉学生支援センターキャリア支援課
電話：03-3961-2284
メール：career@tokyo-kasei.ac.jp

健康科学部・子ども学部 (狭山キャンパス)

進路アドバイザーによる面談をオンライン形式と対面形式を複合させて実施中。進路や就職活動全般(応募書類や面接対策から活動方法等)に関して一人40分じっくり相談できます。(卒業学年優先、大学3年生も利用可能)

【在学生の皆さんへ】「manaba」にある学年・学科別の就職支援コースから閲覧や申込みが可能です。

〈問い合わせ先〉狭山学務部学務課
電話：04-2952-1623
メール：syusyoku-s@tokyo-kasei.ac.jp

大学宛ての求人も要チェック!



動向を熟知しているプロがいるわけですから、各種セミナー、キャリア面談、エントリーシートに関するアドバイスなど、活用しない手はありません。キャリア支援課をフルに活用している学生は、適切なタイミングで適切な助言を受けられる分、軌道修正がうまくいったり、モチベーションが維持できたり、プロのサポートをうまく自分の武器にしています。特に、コロナ禍では友達同士で会う機会が減り、何気ない会話から友達の就活がどのくらい進んでいるのかを知って、自分も奮起するといったような相互作用が働きづらくなっているようです。だからこそ、キャリア支援課を自分の味方につけて、活用しましょう。

強み4

自分の意見をわかりやすく伝えることに慣れている

コロナ禍で導入が進んだオンライン面接では、面接官の学生に対する評価・判断が対面よりも厳しくなったと言われています。なぜなら、好感が持てるな、明るくて社交的だな、といった非言語による全体的な雰囲気での判断がしづらくなり、学生が話す論点や伝え方に面接官の意識が向きやすくなったからです。それゆえに、「自分の意見をわかりやすく伝える」ことが今まで以上に重視されるわけですが、これをすぐに習得するのは難しく、場数を踏んだ「慣れ」が影響しやすいスキルです。授業・



強み5

周囲とうまく繋がって、頼り上手

性格や人柄といった点になりますが、「頼り上手」な学生は就活をうまく進めています。全てを他人任せにして自分で何も決めないとなると問題ですが、周囲を巻き込みながら、その力を借りること自体は決してネガティブなことではありません。例えば、アルバイト

ボランティア・サークル・アルバイト・インターシップなど、自分の意見を発表する機会がたくさんあるはず。積極的に手を挙げて、自分の意見をわかりやすく伝えることに慣れる機会を多く経験することをお勧めします。また、自己PRや志望動機といった面接で必ず聞かれる質問にはスラスラ答えられても、いざ深掘りした質問をされると答えが出にくい学生も多くなります。これは普段から物事を考えることに慣れていないことが影響しています。ですから、日頃から身近なニュースや出来事に対して、自分はどう感じるのかや、自分の意見は何なのかを考える習慣を意識的に取り入れてみましょう。



先の先輩にエントリーシートの添削をしてもらう、家族や親戚の人脈を活用してOG訪問に繋げる、キャリア支援課へ頻りに相談に行くなど、周囲の協力を得ている学生は、就活に弾みがついています。「人と繋がりが、頼ること」ができる、孤立することなく、メンタル面の安定にも繋がります。一方で、いくら行動力があっても、人とうまく繋がれないと、自分だけでは合っているの?周りはどのくらい進んでいるの?と、周囲が気になり始め、不安な思いが先行する学生も見受けられます。全てを自分の力だけで完結しようとせず、思い切って周囲に頼ってみましょう。人に頼られるというのは、案外嬉しいものです。周りも協力してくれるはずですよ!

東京家政大学グローバル教育センター

板橋キャンパス16号館2階

開室時間：平日 9時から17時

土曜日 9時から12時

問合せ：03-3961-1861

東京家政大学の 新しい国際交流、英語教育

どんな状況下でも諦めないで！

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により海外渡航が制限される日々が続いています。昨年度は、全ての渡航を伴う研修が中止になりました。しかし、オンラインツールが発達した現在、今だからこそできることも沢山あります。どんな時でも諦めずに前進してもらいたい、そして、今できることからチャレンジしていくことで自分の可能性を知り、次の世界を見つめるための経験としてもらいたいと願いつつ、グローバル教育センターも新たなことに挑戦し続けています！以下、春期休業中に実施したイベントと研修の一部をご紹介します。

『海外で働こう！ウィーク』 (2月3～6日)

本学の卒業生や関係者で、海外で働いている方、もしくは働いていた経験をお持ちの方々をお招きして、海外で働くとはどういうことなのか、求められる素質、学生のうちしておくべきことなどをお話いただきました。

卒業学科は様々で、外資系航空会社でCAをされている方、青年海外協力隊としてジブチ共和国へ派遣された方、フランスでパティシエとして修業されている方、日本人学校や幼稚園で教員をされている方などなど、本当に多くの方が海外で活躍されており、この状況でなければ何えないような大変貴重なお話を伺うことが出来ました。海外で働くために必要なことは？という問いに全員の方が「行動力」と答えられたのが、とても印象的でした。皆さん、ここぞという人生の岐路に立った時、それまでに培った人脈に助けられ、失敗を恐れずに一歩を踏み出したことが現在のキャリアに繋がっていました。

4日間で延べ180名ほどの参加があり、多くの学生が海外で働くことに少なからず興味があるのだと、とても嬉しく思いました。心から強く願い、行動し続ければ、必ず夢



はいつか実現します。学生の皆さん、どうか大学時代から興味を持ったことには何にでも挑戦し、自分の世界を広げていってください！



『Make a Difference プログラム ～多様性を学ぶ(オンライン)』 (2月3日～3月26日(自律学習含む*))



「違いをもたらす」(Make a Difference) <自分> を作り出すため、異文化体験を通して多様性を学び、豊かな心を育みながら、グローバル社会でうまく働いていくための自分の強みを見つけていく研修です。この研修は、多文化社会という特色を持つニュージーランドのマッセイ大学との共創で、実際の交流はわずか5日間ではありながらも、その学びを最大限高めるために、語学サポートや異文化理解サポートをつけたプログラムです。限られた時間だからこそ「話さなきゃ」と思えたり、話すために準備したり、目的に向かってグループで力を合わせたりと、一つひとつの活動に達成感を感じることができます。

『第4回マッセイ大学幼児・ 初等教育&英語研修(オンライン)』 (2月22日～3月5日(自律学習含む*))

これまでの参加学生の高い評価と大学間の信頼関係から、このような状況下でもこの研修を続けたいという思いでオンラインでの研修を実現することができました。過去3回の研修で特に学びを深めた活動をギュッと5日間にまとめ、海外の教育を知って視野を広げたいという熱意と将来就職先で出会う多様な子どもたちへの対応を模索する情熱を持った参加学生に応えられるよう研修が進められています。園児が前向きに活動するにはまず、先生が新しい挑戦を楽しむことが必須です！研修後、どんな気づきや発見があったのか伺える日が待ち遠しいです。

※自律学習…マッセイ大学が提供する学習サイトを利用して研修生自身が自ら学ぶこと



英語を本気で学びたい家政大生へ

毎日レッスン！キャンパス英会話



3つのポイント

- ① 授業の空き時間に毎日レッスン
- ② プロの講師担任制
- ③ リーズナブルな受講料
* 奨励金制度あり

受講料：107,800円 (年間100回/消費税・教材費込)

* 講座終了後、一定の条件を達成した学生には大学より奨励金として50,000円が支給されます。

<https://www.campus-english.jp/kasei/>

令和2年度 学園貢献賞 受賞者決定と表彰式

学園貢献賞は以下の趣旨にて、毎年表彰されています。令和3年2月16日(火)に表彰式が執り行われました。

趣旨

- 本学園の広報に特に貢献し、新聞等マスコミにおいて記事が掲載されるなど表彰に値すると考えられる学生・生徒等
- 他人に対する極めて親切な行為で特に表彰に値する学生・生徒等 ※「苦米地善行賞」
- 大学院において研究業績及び論文発表等が特に優れていると認められる大学院生 ※「大学院ベスト論文理事長賞」
- 学生・生徒の指導等に功績があり、学園の名誉を高めたと認められる教職員

学園貢献賞 授賞式



理事長賞	オンライン授業対策・サポートチーム 代表 井上 俊哉 他15名	ツールの選定、学生へのパソコン貸与の準備、マニュアルの作成等を行い、オンライン授業が円滑に行われるよう努めた。
理事長特別賞	藤井 建夫 人間生活学総合研究科(修士課程) 健康栄養学専攻・客員教授	TV出演、雑誌執筆、新聞・雑誌取材等多くのメディアに取り上げられた。ゴールデンタイムでの注目されるような番組へも登場し、東京家政大学の研究や大学名を広く社会に伝え続けた。
学長賞	保育科2年「保育総合表現」ミュージカル "24 Lovely Girls ♪あ~した、元気になる~れ"	これまで学んだ知識、教養、表現力を総動員して、コロナ禍におけるオンラインミュージカルを創りあげた。今年度はオンラインでミーティングを重ね、ダンスの振り付け、オリジナルソングの作詞・作曲、ピアノ演奏、イラスト作成などにもチャレンジした。
学長特別賞	緑窓会代表 会長 山田 民子	同窓会として、学園に新型コロナ学生支援奨学金1億円の寄付をした。学生が経済的な理由で未来を奪われることのないよう支援する奨学金として活用される。
校長賞	附属女子中学3年 石川 想	第26回 いたばし国際絵本翻訳大賞 中学生部門 最優秀賞受賞。中学英語部の部長として、部員をまとめ、自らの英語力を伸ばす努力を惜しまない。中学2年次に実用英語検定準2級取得済。
苦米地善行賞	附属女子中学3年 鉢蠟 汐	オンライン授業期間中に家庭科の課題であった「手作り布マスク」の作り方を参考に、祖母と160枚もの子ども用マスクを手作り。東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園の園児に寄付した。

※学年は令和3年2月16日現在。

〈学長賞〉保育科2年「保育総合表現」ミュージカル 『24 Lovely Girls ♪あ~した、元気になる~れ』 の動画を公開しています!



学生は作品について「新型コロナウイルス感染症を予防しながら取り組まざるを得なかったことは事実ですが、だからこそ、誰もが、互いに敬意を表しながら最後の最後までミュージカルづくりに邁進出来たことは最大の財産だと思っています」とコメント。今を生きる保育科の学生からのメッセージと言えるオンラインミュージカルとなっています。



【ストーリーと見どころ】新型コロナウイルス感染症の流行で、大学は休校、卒業式も取りやめになる。友人とも会えず、ステイホームとオンライン授業で不安ばかりの日々が続く。そうした中、「保育総合表現」でオンラインミュージカルを作ることに……。オンライン画面や学内の各所でのダンスシーンなど、映像ならではのミュージカル作品に仕上がっています。

東京家政大学の英語教育

授業内で!

授業内も、授業外の自律学習も、 実践的な英語を身につけよう!

1年生	英語	IA → スピーキング重視の授業 IB → リーディング重視の授業	必修
2年生	英語	IIA → ライティング重視の授業 IIB → リスニング重視の授業	必修
3年生~	英語上級	A → プレゼンテーション B → コミュニカティブ・ライティング	選択

2年間の必修科目で4技能をよりバランスよく学習できるカリキュラムです。自信をもって自分の意見を伝えたり、コミュニケーションがとれるようになることが目標です!

授業外で!

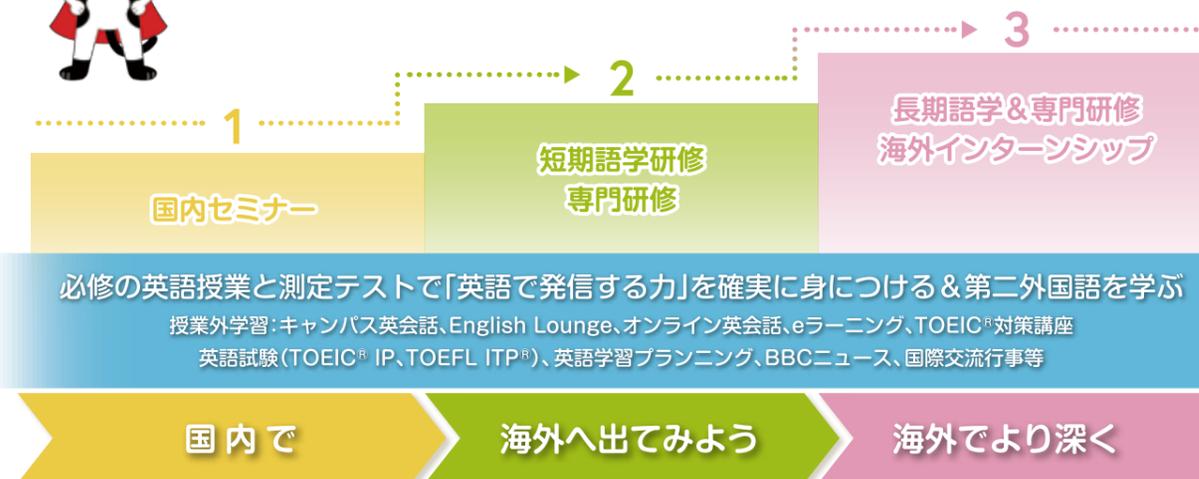
英語学習サポートを活用して英語力アップ!



組み合わせ可能!



語学力とグローバルマインドを磨く3つのSTEP



附属女子中学校・高等学校

高校 オックスフォード大学出版主催コンテスト 昨年引き続き、ダブル入選!

2020年度の英語に関する外部コンテストで優秀な成績を修めた生徒をご紹介します。英語の本を読んで、あらすじやおすすめポイントを英語でまとめたポスターの作成が評価され、昨年に引き続きうれしいダブル受賞となりました。

オックスフォード大学出版主催 『Big Read コンテスト』佳作 入選

高校1年 国広 優香さん (紹介した本「Baba Yaga」)
高校1年 一色 澄玲さん (紹介した本「Aladdin」)

※生徒の学年は、2020年度の学年です。



右:国広さん 左:一色さん

高校 ソフトボール部 私学選手権大会第5位(ベスト8)

2020年8月に高校3年生最後の大会である「東京私立ソフトボール選手権大会」が無観客で行われました。2020年3月上旬からの休校措置や緊急事態宣言で約4か月間練習ができず、また多くの大会が中止となるつらい状況ではありましたが、7月から徐々に練習を始めプランクを取り戻し、結果第5位(ベスト8)入賞をすることができました。改めて大会ができることの喜びと応援していただいている保護者への感謝を噛みしめる大会となりました。



高校 ソフトテニス部 東京都の団体戦で第5位(ベスト8)

2020年12月27日(日)エスフォルタアリーナ八王子にて開催された「東京都高等学校インドアソフトテニス大会(団体戦)」において第5位(ベスト8)となりました。ダブルス3対戦の団体戦形式で行われ、準々決勝は1対1の3番勝負となり、大接戦の末惜しくも敗れ、ベスト4を逃しましたが、生徒たちは精一杯自分たちの力を出し切りました。

また、昨年11月の予選を勝ち抜き、2021年3月20日(土)～22日(月)東京体育館で開催される、全国大会で私立高校のインターハイと言われる「第55回全日本私立高等学校選抜ソフトテニス大会」の個人戦に、高校2年生の荻島美羽・霧我紋佳ペアが出場する予定でしたが、中止となりました。



中高 ブラスバンド部 サクソフォーン4重奏で金賞受賞

東京都高等学校吹奏楽連盟主催「第44回東京都高等学校アンサンブルコンテスト」が2021年1月5日に府中の森芸術劇場にて無観客で開催されました。ブラスバンド部は中高合同で活動しているため、中学3年生1名と高校2年生3名がサクソフォーン4重奏で出場し、「金賞」を受賞いたしました。コロナ禍の影響により思うように練習ができませんでしたが、自分たちにできる最大限の努力を重ね、本番ではいい演奏ができました。



「KASEI」から「SEKAIへ」 ～国際スタンダードに基づく、 世界に通用する輝きある女性を育成～

新校長就任

東京家政大学附属女子中学校・高等学校
統括責任者 兼 高等学校長
大澤 力

附属中高は、目指す学校像の「KASEI ビジョン」の実現に向け「KASEI ならではの学び」をコンセプトに学力と進路実績向上に取り組んでいます。一方、国も国際化・情報化に対応する資質・能力を育成するため、知識・技能の習得と共に、問題解決能力としての「思考力・判断力・表現力等の育成」や「学びに向かう力・人間性等の涵養」を新しい学力と位置づけ学習指導要領を改訂しました。本校もこの視点に立ち、「自主自律」の建学の精神のもと、国際スタンダードを目指し、探究学習とIB(国際バカロレア)教育を導入して生徒の学びを変え、生涯学び続ける「KASEI WOMEN」を育成していきます。

さらに、附属校の強みを生かし、大学の高い専門性やメディア情報技術と国際交流を活用した高大連携も推し進め、今年度も附属中高は、「KASEI」から「SEKAIへ」を合言葉に、「国際スタンダードに基づく、世界に通用する輝きある女性の育成」に取り組んでまいります。

東京家政大学大学院人間生活学総合研究科 科長
東京家政大学子ども学部子ども支援学科 教授
公益財団法人：幼少年教育研究所 理事長



考え、伝わる言葉をもつ人に

新校長就任

たかまさ あやこ
中学校長 賞雅 技子

今年度、東京家政大学附属女子中学校校長に就任いたしました。教育課題の解決と改善に向けて中学校教育を一步一步着実に進めてまいりたいと思います。また、本校の現状と目指す教育について、学園の諸先生が、多くの卒業生の皆様に、ご理解とご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

中学校入学者数の確保は引き続き最大の課題となります。また、生徒が主体的に学ぶ指導方法・評価の研究や教育環境整備等、喫緊の課題を抱えております。また、今後の附属女子中高の根

幹となる教育の基盤づくりのために、教師自らも学び、探究する人である必要があります。とはいえ、これまでの愛情・勤勉・聡明を目指す生徒指導は変わることはありません。多様な体験や活動機会を計画的・効果的に取り入れ、個性を伸ばすことも欠かせない目標です。コロナ禍にあっても、学校は生徒たちの夢を育てる場です。学ぶことによって心豊かな人として成長することを願い、年度当初のご挨拶とさせていただきます。

中高 2021年度 中学・高校入試状況

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令中という、異常事態のなかで行なわれた2021年度入試は、受験生に対し日々の検温・うがい・手洗いをお願いするとともに、入試当日のマスク着用、サーマルカメラ・検温器による体温測定、手消毒、1教室20名以内の定員、毎時間の換気など、細心の感染症予防対策をとりながら行なわれました。幸いなことに、当日受験不可になった受験生を1人も出すことなく、全10回にわたる中学・高校の入試を無事終了することが

出来ました。教職員一同安堵しております。コロナ禍の今年度は、外部団体主催の相談会・説明会がほとんど中止となるか、Zoom等の予約制オンライン相談会に変更されるなどしたため、本校を広くPRする機会を思うようにつくれず、広報活動には苦労しました。来年度もコロナ禍が続くと思われるので、広報活動も初動を早くしていく所存です。(入試・広報部)

東京家政大学 人文学部教育福祉学科

社会福祉士国家試験 私大合格率3年連続全国1位

第33回社会福祉士国家試験において、私立大学合格率3年連続全国1位を達成しました！本学の現役合格率は96.7%と全国平均を大きく上回りました。(全国平均合格率29.3%)※受験者10人以上

また、第23回精神保健福祉士国家試験においては、3人中2人が合格し、全国平均合格率を上回る優秀な成績をあげました。

この他にも、社会教育主事、社会福祉主事といった資格を生かして、毎年多数の学生が地方公務員の上級職や専門職の採用試験に挑み、内定を獲得しています。



「令和3年度 緑窓会・新型コロナ対応学生支援奨学金」募集開始

緑窓会・新型コロナ対応学生支援奨学金は、緑窓会（同窓会）からの寄付金を原資とした奨学金です。新型コロナウイルス感染症の影響及びその他の経済的理由により修学が困難な者を優先して、年間授業料及び年間施設設備維持充実費の半額を減免します（原則、後期学費から減免）。日本学生支援機構奨学金や高等教育の修学支援新制度、渡辺学園関係奨学金（細井愛子奨学金のみ併願可能、併用不可）、その他奨学金（民間財団や地方自治体の奨学金、各種修学資金貸付等）を利用中または応募中であっても応募可能です。

- 奨学金支給額
年間授業料及び年間施設設備維持充実費の半額を減免 ※返還義務なし。現金支給ではありません。 ※高等教育の修学支援新制度利用者は、10月の支援区分との差額を給付します。
- 奨学金の詳細や応募方法は HP をご確認ください。
https://www.tokyo-kasei.ac.jp/campus_support/scholarship/3.html
本学 HP>MENU>学修支援と学生生活>奨学金>令和3年度の奨学金対応について（板橋校舎）もしくは令和3年度の奨学金対応について（狭山校舎）>緑窓会・新型コロナ対応学生支援奨学金

お問い合わせ 板橋キャンパス(家政学部、人文学部、短期大学部) 学生支援課 syogakukin_itabashi@tokyo-kasei.ac.jp / 03-3961-2079
狭山キャンパス(健康科学部、子ども学部) 学務課 s-syogakukin@tokyo-kasei.ac.jp / 04-2952-1626

東京家政大学博物館
学内限定公開(学生・生徒・教職員対象)

— 予告 —
企画展「ふしめの儀式」

令和3年 5月13日(木)～6月16日(水)

【開館時間】 9:30～17:00 【休館日】 土曜日・日曜日
【会場】 東京家政大学博物館 企画展示室(百周年記念館5階)
新型コロナウイルス感染症の影響で、期間等を変更する可能性があります。

人生において、入学や卒業、成人、結婚などを「ふしめ」ととらえ、現在でも祭祀や儀式が行われています。通過儀礼と呼ばれるそれと共に、時季によって催される年中行事も、人々の生活環境や社会情勢、文化に作用されながら、時代に伴って変化してきました。通過儀礼のなかでも特に重要視される冠婚葬祭は、明治維新と太平洋戦争を大きな境目として、徐々に現在の形式が整えられました。こうしたふしめの儀式が行われる日は、普段とは違う装いに身を包むことで、儀式の重要性や非日常性が示されました。参列者の服装が服制として定められていたものもあり、人々がいかに儀式における装いに重きをおいていたかをうかがい知ることができます。本展では、通過儀礼のうち大学生にとって最も身近といえる成人式から一生を終えるまでの儀式に加え、年中行事について、その装いを中心に紹介していきます。また、どのようにして形式が移り変わったのか、変化のようすにも目を向けます。



文官大礼服(奏任官) 大正3年頃
振袖 紅綸子地枝垂桜模様 平成19年
打掛 鼠縮緬地松竹梅鶴亀模様 江戸時代末期～明治時代

2020年度 造形表現学 卒業制作展

2021年2月11日(木)～2月13日(土)の3日間、東京家政大学家政学部造形表現学科の2020年度卒業制作展が北区「北とぴあ」展示ホールにて開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大予防の観点から、学生のご家族等の関係者に限った公開となりました。会場には、4年間の学びの集大成である卒業制作の作品が合計109点展示されました。実際に使用されていた水道管を利用した「テーブルと椅子」、祖父の昔の写真と同じ場所を学生が訪れ撮影した「じつちゃん」と写真、子どものための工作や体験を考えたための論文など、個性溢れる作品が並びました。また、プロジェクトコンペティング、タッチパネル式の会場案内、タロットカードを題材にしたゲームプログラミングなど、来場者が作品を体験できるエリアも好評でした。

《分野》
絵画、日本画、染色造形、陶芸、空間・インテリアデザイン、メディア・情報デザイン、視覚・コミュニケーションデザイン、住環境・まち、芸術学、織物、映像メディア、金工・ジュエリー、育ちのための表現、版画

開期間だけでなく作品の搬入や搬出といった準備・撤収の際にも感染対策を講じました。特に作品の搬入では、会場内が密にならないよう搬入日は通常の2倍の日程を確保し、ゼミごとに搬入時間を割り振って指定された時間内で設営や展示が完了するように努めました。こうして、苦難の中でもさまざまな工夫を積み重ねることで、家族や友人に作品を披露する機会を設けることができました。本展は、会場へお越しいただけない方も展示の様子をご覧いただけるよう、造形表現学科のホームページ上で動画も公開しています。造形表現学科の学生が4年間で学んだ知識や技術を使った集大成の作品をぜひご覧ください。



《動画公開》



なでしこ展覧会

東京家政大学かせい森の放課後等デイサービス『つくし』（狭山キャンパス）に通所している児童が絵画造形活動で作った作品をご紹介します



「電車」

(小学校1年生)

〈指導員からのコメント〉電車が大好きで、いつも電車を描いたり、空き箱や木で電車を作ったりして楽しんでます。画面いっぱいに大きく描かれた電車は、こちらに向かって走ってくるような迫力が感じられます。画面は、電車が大好きな気持ちがあふれています。

「遊園地」

(小学校5年生)

〈指導員からのコメント〉ただ今、紙粘土の工作に夢中です。自分でイメージしたキャラクターをたくさん作りました。この作品はそのうちの一つです。遊園地でアルファベットのキャラクターたちが楽しそうに遊んでいます。どの作品もカラフルな色彩にあふれています。



東京家政大学かせい森の放課後等デイサービス『つくし』は、放課後、障がいのある小学校1年生から中学校3年生の子どもたちが活動をしています。絵画造形活動・音楽・身体活動などを通じて、好きなことや得意なことに取り組むことで、自己肯定感を高め自立を図ることを応援しています。子どもの支援だけでなく、校内にあるかせい森のクリニック（医療）・学校と連携した相談活動など、保護者支援も行っています。また、子ども学部子ども支援学科の実習先として活用され、将来子どもに関わる職業に就くことを希望している学生の学びの場ともなっています。

「ひとの生（「Life」）を支える学の構築」研究の挑戦

健康的な食を通じた持続的な地域生活を実現するための支援システムの構築

—働く障害者の食改善を取り掛かりとして—

研究者：人文学部教育福祉学科 * 田中恵美子、家政学部栄養学科 加藤和子/和田涼子
ヒューマンライフ支援センター 専門員 内野美恵

*執筆者

障害者の食生活、その課題は？

このプロジェクトでは2つの研究に取り組みました。1つは障害者のグループホームでの食事のレシピ集作り、もう1つは知的障害のある人たちの食生活の改善です。

前者の対象である障害者のグループホームは、障害者が暮らしている家のような場所です。そこでの食事は健康維持だけでなく、団薬のひとつを彩る重要な役割を果たしています。仕事で疲れて帰ってきた家で、おいしいご飯を食べることは誰にとっても楽しみだと思います。一方で、グループホームの食事を担う世話人にとって、毎日のメニューを考えることは、仕事とはいえ、負担でもあります。ましてや10人程度の利用者が暮らしている場所ですから、一般家庭での料理よりも量が多く、準備や調理に工夫も必要です。巷にあるレシピをそのまま使えないことも多々あります。また、昨今では世話人の高齢化や確保の難しさが問題となっており、彼らの負担を減らすだけ軽減して、毎日の食事を簡単にしかもおいしく作ることできるようにできたら、という思いを込めてグループホームのためのレシピ集を作りました。

善は、主に地域で一人暮らしをしている障害者を対象としています。障害者に限らず、一人暮らしの場合には、コンビニやスーパーのお惣菜を毎日利用する方も多くいます。障害のない人であれば、例えば週末だけでも、あるいはちょっと自分が食べたいものがあるときには、自炊するというのも珍しくはないでしょう。ところが、障害のある人は調理の経験が少なく、なかなか実行することができません。幼いころから、危ないから、という包丁を持つことも教えてもらえなかった人たちがいます。また、栄養バランスを考えるとなく、好きなものばかりを食べてしまう食生活を続ける人もいます。この研究では、知的障害のある人1人に1人の学生がつき、一緒に学び合いながら、彼らが健康的な食生活の習慣を身につけることを目指しました。

予期せぬ事態に翻弄された一方で

研究の1年目（2018年度）は、学生食堂を利用して学生とともに「健康的な食事を食べる」ことを実践しました。2年目（2019年度）には、調理室で学生と一緒に「健康的な食事を作って食べる」ことにステップアップさせました。調理体験やレシピの定



調理実習の料理

着化に繋がるよう、知的障害のある人たちが自身が自宅でもう一度同じ料理を作り、写真を撮って報告書を作成するといったことも取り組みのポイントでした。

当初の研究計画では、3年目の2020年度は知的障害のある人たちの自宅を訪問し、学生と一緒に買い物も含めて「健康的な食事を考え、用意して食べる」ことを予定していました。料理研究家リュウジさんのご許可もいただき、彼の簡単レシピを使って調理し、SNSに投稿してリュウジさんご本人からコメントをもらう計画も進めていました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡

大の影響で、こうした取り組みの実施は叶いませんでした。

新型コロナウイルスという予期せぬ事態に翻弄された一方で、この研究は学生にも有意義な経験になりました。知的障害のある人たちと一緒に調理に関わった学生の中には、料理を作ったことがあまりない学生も多く、栄養状況も決して良いものとは言えませんでした。（1年目に行った調査では、学生よりもむしろ知的障害のある人の方が、栄養バランスの良い食生活を送っていたほどです。）結果として、参加学生も自身の食生活を考えるきっかけにもなり、この研究は学生の食生活改善にも繋がりました。

さらに、調理実習も学生にとっては有意義な体験となりました。ときには、障害者の方たちの方が手際よく調理する場面がありました。学生と知的障害のある人たちが互いに支え合う関係が自然と生まれました。これは、ほんのひとときの第一歩に過ぎませんが、共生社会の実現に向けた大事な実践だったと振り返ることが出来ます。

健康的に楽しく働く障害者が増えれば

この研究では、明るく楽しく笑顔で、をモットーにしてみました。この研究に参加した皆さんが、いつも笑顔だったことが思い出されます。おいしいものを食べると人は笑顔になります。今では、飛沫防止のために「黙食」という言葉もありますが、新型コロナウイルスと生きる社会の中でいかに食事を楽しくしていくのか、これからの課題を新たに与えられたようにも思います。

知的障害のある人たちの食生活が豊かになることは、健康的な人が増えることを意味します。毎日健康的に楽しく働くことができる障害者が増えていく社会は、きっと明るい未来になるはずです。

Tokyo Kasei Press Vol.88 学校法人渡辺学園 広報誌なでしこ 2021年4月発行

新型コロナウイルスの影響により、本誌掲載の行事等の開催が変更・中止になる場合があります。お問い合わせは学園運営室(03-3961-5690)までご連絡ください。

- 学園運営室
門脇亜希子、川島 直子、古角花亜菜、坂本 理恵
- 広報・広告推進提言グループ
安孫子奈緒、枝 隼也、小野 晴香、熊倉 直子
古渡由香里、齋藤 麻衣、原田 陽子、矢野 穂

- 発行人
菅谷 定彦 (学校法人渡辺学園 理事長)
- 編集責任者
岩井 絹江 (学園運営室 室長)
- 編集・発行
学校法人 渡辺学園 学園運営室
〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1
電話：03-3961-5690

- 制作・印刷
株式会社弘文社
- 表紙デザイン
坂本 理恵
- 広報誌なでしこ バックナンバー



◆なでしこ栽培日記

学園運営室では、本誌の愛称「なでしこ」を栽培しています。

年未年始の休み期間、水やりをどうするか問題。原始的でエコな方法を採用。バケツに水を張って、5センチ幅にカットしたタオルを渡し、プランターに敷きました。年明け、水を吸っているう！と、期待以上の感動でした。

なんとか年を越したものの、それから成長が芳しくない期間が続き、2月上旬に日当たりのいい場所に引っ越し。すると、ぐんぐん伸びはじめました。おひさまの光を浴びて、この調子で花を咲かせて欲しい！

次号89号は、2021年7月発行の予定です。掲載希望の記事がありましたら、学園運営室にご連絡ください。

Tokyo Kasei Press 広報誌なでしこ

創設時の校章に「愛を意味し、母性愛と教育愛を象徴している」撫子(なでしこ)の花がかたどられています。「平成」から「令和」になった2019年に広報誌ヘリニューアルし、「なでしこ」の通称名を付けました。これからの時代を「しなやかに凛と生きる」女性として社会で活躍できるよう、願いを込めて多くの情報を発信していきます。

朝に飲む一杯の紅茶、ヘアアイロンを温める間に塗る口紅、おやつに食べるドライいちじく、寝る前の白ワインちょい飲みと韓国ドラマ視聴、週末は海外ドラマ2話と映画1本、お正月の買い出しは12月30日…。ルーティーンと言えば洒落た感じだが、つまりは日課、はたまた週末課、そして年課とも言うのだろうか。気がつくと朝が来て、いつもの週末を過ごし、相変わらずの年末を迎える。

決まりきったことをするのは性に合っているし、毎日があることは愛おしい。のだけど、同じところをグルグル回っているだけじゃないかと、心の隅っこで思う。特にこの一年余りは、それが塵積もる。

それでも、はっきりした結果でなくても、見聞や記憶という荷物を持ちながら、わたしたちは一段一段を登っていると信じたい。らせん階段がそうであるように。上から見れば一つの円でも、実は回転しながら上昇しているのだと。本号にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。(N.K)

渋沢栄一が時の人になっている。

私の祖父は渋沢栄一が会頭となっていた在京の埼玉出身学生のための寄宿舎に大学生時代、世話になっていたそう。両親は度々渋沢の話聞いていたらしい。実家には渋沢から米寿のお祝いのお礼の手紙(昭和4年5月)と渋沢が書いた「大學及前赤壁賦」がある。たくさんの人に影響を与えていたのだと実感した。もっと祖父から話を聞いておけば良かったと思った。(A.K)

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。在学生の皆さん新学年の開始です。広大なキャンパスでは「皆さんの新学期を待っていました！」と喜びを表現するかの如く、草木花が一斉に開花し、学内の空気が明るくなり人の心に潤いを与えてくれています。

センター入試が今年の入学者入試より大学入学共通テストに変更になったことは周知のことですが、「何がどのように変わったのか」入試専門家によると『単に知識だけを問う問題から、考え方の流れを問う問題や、文章から素早く要点を把握する力、情報を収集する力など、どの教科も文章を読み取り考えをまとめる力、読解力が問われる問題となった』と分析されています。

読解力の必要性は受験に限ったものではなく、さらに読解力=読書ではないと思いますが、最近若者の文字離れを感じる事が多くあります。職務上、採用面接に同席し、そこでの質問に対して「最近あまり本を読んでいない。新聞は取っていない。情報はネットで…」の答えが多く、読むことは楽しいのに…と思いながら文字離れを改めて認識しています。

コロナ禍でオンラインでの授業や会議は避けて通れず、日常生活では多様なツールでのコミュニケーションで「わかってもらえるように話し、理解し合うこと」が求められています。これらの基本は「聞いたこと、読んだことをまとめる力」ですが、生きていくためにも『読解力』の必要性を改めて感じています。新聞は情報満載。まず新聞を楽しんで読むことをお勧めします！(K.I)



額紫陽花って、シックでお洒落な花だと思っただけですか？



付近を漂う芳醇な香りを嗅ぐと、目の前で秋がはじけたような気分。年に一度しか体験できない、大好きな瞬間。



小学校で歌った合唱が頭の中でグルグル流れて止まらない季節。「秋の夕日に照る山紅葉…」



中高正面玄関付近



中高正面玄関付近



純白で光沢ある花びら、甘い濃厚な香り。気品ある清楚な佇まいで、ウエディングブーケにも人気の花だそうですよ。



5月に咲き誇るツツジは生命力満ち溢れ、ゴールデンウィーク明けの現実復帰にエネルギーをチャージしてくれます！

強い日差しが照りつける夏、空が青く高く澄んで見える秋、肌を刺すような北風が吹く冬。どの季節も似合うキャンパス風景を一挙にご紹介します。

東京23区にありながら、緑豊かな板橋キャンパスは、都市の利便性と自然が調和し快適な学生生活を送ることが出来ます。約9万㎡の敷地に3千本を超える樹木が生育し、季節の草花が四季を彩ります。桜の花びらが風に舞う春、

四季が似合うキャンパス (板橋編) なでしこ歳時記



まるで北欧の森林! マイナスイオンたっぷり、リフレッシュに最適な気持ちが安らぐエリアです。ただし、夏は蚊の襲来にくれぐれもご注意ください。



「実がなるシリーズ」、ぶっくりぶっくらとした実は、その形状を見るだけで幸せな気持ちになります。どれもジャムにしたら美味しそうと、食欲が沸いてきません！



寒空に咲く花は、背筋を伸ばして凛と生きる女性のようなです。

理事長コラム “世界を生きる”

学校法人渡辺学園理事長 菅谷定彦

日経ニューヨーク特派員時代⑦

中南米、2週間の珍道中(下)

ベルー3日目の朝、ベルー航空に再度電話し、正午発メキシコシティ行の予約をリコンファーム(再確認)した。大使館や商社のスタッフから秋深まる中南米は観光シーズン、ベルー航空はオーバーブックキング(過剰予約)が少なくないので予約確認を入念に、と言われていたためだ。返事は「フープロブレム、OK」。正午発なので早目と思い午前10時にリマ空港に着き、ベルー航空のカウンターに並んだ。

ところが「セニョール菅谷の席はない」と言う。2回も確認したのにとつと、予約係のミスとの回答。ウェイティングの順番はとの問いには、「80番目、125の席に對しオーバーブックキングは120名。本日メキシコシティ行はこの便だけなので、他を当たって欲しい」。腹を立てても仕方がないので空港内の残り7社を総当たりしたが、メキシコ行は全て超満員。

唯一ドイツのルフトハンザ航空の職員が午後11時発パナマ行の便が今満杯だが7番目のウェイティングで乗れる可能性が高い、と言う。パナマに早朝到着、同日昼前メキシコシティ行のパナマ航空便を予約するので、午後にはメキシコシティ入りできること。この日は時刻に、GDP(国内総生

産)1億1000万ドル、人口1億3000万人と、中南米でブラジルに次ぐ大国的安定しているメキシコのポルティージョ大蔵大臣との面談予約があり、ルフトハンザにかけることにし、煙草1カートンとペットボトル2本、パン2個を買って、ルフトハンザカウンター前の椅子に座りこんだ。

空港入りして12時間、午後10時にルフトハンザの社員が来て「席が取れたので手続きを」と言われた時は「天は我を見捨てず」と思った。手提げかばんを肩にかけ税関に入ると旅行かばん2つの中身を全て調べられ、入れてあった煙草マールボロを1個とパンを1本召し上げられた。機内に入り一息ついていると客室乗務員が「ミスター菅谷はいませんか」と声をかけたので、「降ろされると思います」と黙っていたら、もう一度今度は空港で買った煙草1カートンを買って再度「ミスター菅谷」。手を挙げて受け取ったが、聞くとルフトハンザカウンターに置き忘れていた。

午後メキシコシティに到着、ホテルに荷物を預けポルティージョ蔵相(後に大統領就任)とのインタビューに臨んだ。「ブエノス・タルデス」(こんにちは)から始まり、

スペイン語で自己紹介と、時間をとってくれたお礼を言い、いざ英語でインタビューを始める。蔵相は戸惑った様子を見せた後、電話で英語のできる補佐官を呼び、無事1時間のインタビューを終えた。補佐官が来るまでの僅か3分間は10分間にも感じるほど長かった。



ポルティージョ メキシコ大統領 (1976年~1982年)

ホテルに戻り、大使館や商社に到着が1日遅れになったことの謝電を入れると、商社支店長が明日は日曜日、予定されている夜のアカプルコ行までお時間があるのなら、古代のピラミッド群がある「テオティワカン」に案内するというので車に荷物を積み出かけた。

世界遺産のテオティワカンは紀元前2000年前後に建築開始、マヤ文明ピークの5世紀ごろに完成。世界3番目に大きいピラミッドの「太陽」(高さ74メートルと月「46メートル)を中心に600強の遺跡が連なり、中心部を全長5キロメートルの「死者の道」が通る雄大な景観に圧倒された。



メキシコテオティワカンのピラミッド群の前で

夜の便で雷雨の中、メキシコ有数の観光地アカプルコに到着した。翌朝部屋の窓のカーテン

を開くと真下に美しいゴルフコース。朝食後クラブハウスで道具一式とゴルフシューズをレンタルし、3ホール目で前の3人に追いついた。間くとイースタン航空の招待で来ている米国の新聞、テレビの記者。「ジョインしないか」と言われ5ホール目のロングホール(パー5)で2オンワンパットの「3」で生涯初のイーグルを達成した。夜は記者団のパーティに呼ばれ、「ミスターイーグル」と話題の中心になり長旅の疲れが吹き飛んだ。

翌日夜、久しぶりのマンハッタンの夜景をパンアメリカン航空の窓から眺めながらケネディ空港に到着。税関を出てホッとした直後、屈強な男2人に囲まれ部屋に連れて行かれた。国連の記者証を見せ、「何事か」と聞くと「税関の取り調べだ。バックを開け服も脱げ」と言われ、仕方なくパンツ一枚になった。取調官は5分間、背広のポケットや2つのバッグを余すところなく調べた後、「パンツを下げる」やむなく2人に向かってパンツを膝まで下げると「オーノー」と言った後、うしろに回って尻の穴に太い指を突っ込んだ。

全身を調べた後2人が手をつけて謝り、「アカプルコ発パンアメリカンに日本人が大量に麻薬をもってニューヨーク入りするとの間違った情報があった。貴方は真つ白だ」と釈明し、「この便に乗っていた日本人はミスター菅谷唯一だったので」と付け加えた。「尻の穴まで調べるのか」と問うと「そこに麻薬を入れて持ち込むケースが少なくないからだ」と言い、取り調べのお詫びと言ってクイーンズの自宅まで送ってくれた。2週間の中南米珍道中の終局にふさわしい事件だった。

※次号は日経ニューヨーク特派員時代⑧「ニューヨークの日本人」です。